

J S A 宮崎支部事務局ニュース	2008年 7月23日発行
日本科学者会議宮崎支部事務局連絡先 : 〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学教育文化学部 野中善政 気付 電話/ファックス 0985-58-7511、 電子メール miyazaki@jsa.gr.jp 郵便振替口座 02010-4-15455 加入者名 日本科学者会議宮崎支部	

第41回 JSA 宮崎支部定期大会について

第41回支部定期大会が下記の通り、開催されました。

日時：2008年5月17日（土） 16:00～18:00

場所：宮崎レマンホテル会議室

出席者17名、委任状17名を以って定期大会が成立したことを確認し、新城敏晴氏を議長に選出した。平野事務局長が、国内外・大学情勢の報告、2007年度活動経過の報告、高橋常任幹事が2007年度決算報告を行った。出席者から情勢報告について次のような修正意見が述べられた。

- ・「私たちを取り巻く情勢」16行目：「映画『靖国』の上映拒否」→上映を引き受けた映画館もあった事を正確に述べる。

- ・同25行目：「間接税の拡大」→「間接税の拡大計画」とすべき。

- ・同30行目以下の大学情勢：法人化後のトップダウンによる大学運営の問題点を加えるべき。

活動経過については、2月11日、5月3日の「憲法と平和を考えるつどい」にそれぞれ150名、140名の参加者があり、盛況となった理由について質疑が行われ、(1)2007年参院選挙以降の憲法問題に対する国民の関心の高まり、(2)宮崎9条の会の協力、(3)知名度の高い講師の人選にあったなどの見方が述べられた。

次に事務局長から2008年度活動方針と役員候補者が提案され、高橋常任幹事から2008年度予算案が提案され、次のようなやりとりがあった。

○活動方針1について

- ・「科学の退廃」とは何を指すのか、データの偽造、科学の悪用のことか。科学自体に退廃はないのではないか、という意見に対し、文言はJSAの方針にあり、主に「軍事研究」を指し、宇宙基本法が成立した今、米国のように大学で軍事研究が横行する状況が到来しかねないとの発言があった。

- ・国民生活との関わりに関して、新しい視点で環境・公害・防災を加える。海岸浸食など深刻な問題が身近にあり、JSAとして取り組むべき課題である。

○活動方針5について

- ・「広く科学的精神をもった・・・」とあるが、「広く」は不要との意見に対し、JSAが実験科学・人文科学など広範囲の研究者の団体であることから、あえて「広く」と形容されていると思われるとの発言があった。

予算案については、公害環境部が現在、存在しないので、特別会計の名称を改め、一部を活動費に振りかえるなどの提案があり、これらについては次期常任幹事会等で検討することが決まった。

以上、種々議論の結果、一部修正の上、定期大会議案が了承されたことを報告します。

定期大会終了後、レマンホテル内「ぼくと」で懇親会が開かれ、11名の会員が参加し、法人暫定評価、2期計画、学長選考制度、医学部懲戒免職事件など、宮崎大学の学内問題に話題が集中した。

第2回宮崎支部読書会について

日時：2008年5月22日（木） 17:00～

場所：宮崎大学工学部中会議室

今回のテーマは07年12月号の特集「地球温暖化問題をどう受け止めるか」から、次の2論文を対象とした（②については報告者の都合により、次回読書会に延期）。

①地球温暖化問題への自然科学的アプローチ：林弘文（元静岡大学）・寺尾徹（香川大学）

②地球温暖化緩和への森林の貢献：松本光朗（森林総合研究所）

読書会には農学部院生1名を含む8名が参加した。報告者が論文の内容を簡単に紹介した後、率直な意見交換が行われた。論文①は1970年代における地球温暖化研究（放射対流平衡モデルの導入）、キーリング父子の業績（CO₂、O₂濃度の精密測定）を紹介する内容のものであったが、CO₂、O₂の濃度変動曲線の違いからCO₂の海洋への溶解速度が推定され、人間によるCO₂放出を地球温暖化の原因とするIPCCの結論の根拠の1つとされている、という記述が特に参加者の興味を引いた。また温暖化に関する懐疑的見解もいくつか紹介され、南極氷床中の大気成分の分析により過去の気候が精密に調査された結果、気温上昇とCO₂増加の間に約800年の時間遅れがあった例もあり、CO₂増加と気温上昇の因果関係が逆転する現象もあることが紹介され、地球の軌道変化など気候変動の天文学的原因、海洋循環の時間スケール、大陸氷河成長による地球形状の変化と自転速度への影響などに話題が及んだ。

因みに著者の林弘文氏は素粒子分野の研究者（元静岡大学教育学部）であり、地球温暖化問題に関心を寄せていたが、科学者会議会員の猿橋氏（気象研究所）の研究会で中沢教授（東北大学）の発表を聞いて、温暖化研究の経緯に興味をもち、本論文を執筆したということである。温暖化問題は現在、重大な政治問題に発展しているが、反面、現象は複雑であり、研究は発展段階にあると言える。しかし林氏は地球温暖化研究は一定の物理的、数理的根拠に立って展開されているとの印象を持っているようである。

宮崎支部ホーム・ページの立ち上げ

宮崎支部のホーム・ページにあたるものとしては、これまでJSA事務局が管理する

<http://www.jsa.gr.jp/05event/miyazaki0153.htm>

があり、2007年度までの「憲法と平和を考えるつどい」などの行事の様子が紹介されています。しかし、支部活動をより詳しく紹介し、会員拡大を目指すためには、適宜、即時に資料をアップロードできるホーム・ページが必要です。そこで、この度、東京支部に依頼し、宮崎支部が管理できるURLを取得しました。URLは

<http://www.jsa-t.jp/local/miyazaki/index.html>

となっています。支部常任幹事会（7月8日）では、支部活動の宣伝のほか、支部活動に関わる資料データ・ベースとして利用すべきという提案がありました。事務局としては、東京支部のご好意に報いるためにも、今後、有効利用を図るため、会員の協力を得たいと考えます。